



中 総 企
平成 19 年 4 月 25 日

国土交通省道路局長 様

北海道中川町長 亀井義昭



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成 19 年 4 月 2 日付 (国道企第 114 号) で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり意見書を提出いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

記

1. 中期的な計画の作成にあたっての意見書
別紙のとおり
2. 問合せ先 北海道中川町役場 総務課長
電話 01656-7-2811 (内線 331)

中期的な計画の作成にあたっての意見

意見者 : 北海道 中川町長 亀井義昭



重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

道路は地域と地域間の社会経済活動を支える基本となる重要な基盤施設であります。北海道の面積は東京都の面積の約 39.7 倍の広さがあり、中枢・中核都市は広域的に分散しています。他と同じように北海道の中核都市には、高度な医療サービスや福祉サービスなどの都市機能が充実しており、これらの都市機能サービスを周辺町村が享受できることが効果的・効率的な地域づくりに繋がります。道路については中枢・中核都市間を結び、その周辺町村及び遠隔町村を貫通する高規格幹線道路整備の推進が地域の機能の分担と役割を充実することになります。

また、これからの北海道は、いままで以上に我が国の食料基地・補給の基地としての重要な役割を担うことになります。冷涼寒冷地による低農薬な食物の生産は、日本人の食育にとって重要であります。北海道の安全な大地から安心できる食料を大都市に供給するためには、陸路から陸路、陸路から空港、陸路から港湾などへの産業経済と食料供給を支える高規格幹線道路整備の推進を強く望みます。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

広大な北海道は、拠点から拠点を結ぶ高規格幹線道路の整備が必要であり、道路の延長キロ数を延ばすことが地域間の生活・文化・産業などの振興をはかることになります。効率的な道路整備においては、地域によっては地域の実情に合わせた 1.5 車線的な整備の導入をする必要があります。

その他、道路政策や道路の整備・管理全般について

北海道の冬期間の道路は、吹雪による視界不良や積雪・酷寒による路面凍結など、走行において特有な障害が発生します。防風林や防雪林を道路沿いに植え、春には桜やこぶしの花が秋には紅葉が映え、冬季には安全走行に寄与する樹木の管理と北海道の四季を彩る道路の整備と管理を望みます。

なお、樹木の選定や管理にあっては、地域住民が親しみをもって関わることで、道路に愛着をもてるように地域参画のできるシステムの構築を望みます。